

# 個別施設計画

土木総務課No. 20

策定年月日 R元年12月12日

## 1 対象施設・施設概要

### 施設情報

施設名称	若柳水防倉庫	所管所属名称	北部土木事務所栗原地域事務所
------	--------	--------	----------------

### 公共施設等総合管理方針施設分類

大分類	公用施設	中分類	防災関係施設	小分類	防災機材倉庫
-----	------	-----	--------	-----	--------

### 主要建物概要

構造	木造	用途	防災機材倉庫	建築日	1983年10月18日
経過年数	35年	耐用年数	17年	目標使用年数	23年
運営方式	直営(委託)	管理者名称	北部土木事務所栗原地域事務所	全延床面積(m <sup>2</sup> )	69.56m <sup>2</sup>
所在地	栗原市若柳字上畑岡原谷地58				

## 2 計画期間

令和2年度から令和11年度までの10年間

## 3 点検・診断によって得られた個別施設の状態

別添「県有建築物保全点検調査結果票(準用版)」のとおり

## 4 当該施設の必要性

設置根拠規定等	地方自治法第155条第1項、第156条第1項 行政機関設置条例第15条ほか	必要性の有無	有
業務内容	行政組織規則第95条6項		
必要性の判断理由	水防管理団体(栗原市)の水防活動が十分に果たし得るよう土嚢袋、スコップ等の資材器具を備蓄し、水防管理団体の要求に応じ応援する施設であり、地域住民が安心して生活するためにも必要性が高い。		

## 5 施設ごとの今後の対策

管理に関する基本的な考え方を踏まえた施設の管理方針	職務遂行に当たり必要不可欠な施設であり、今後も適正な維持管理に努める。 点検・補修結果については、データを蓄積し今後の施設保全に活用する。 また、予防保全の考え方を取り入れ、劣化状況等に応じた改修等を図るとともに、計画的な修繕・更新を行う。
施設間・対策間の優先順位の判断内容	令和3年度当初現在築37年で、耐用年数17年(目標使用年数23年)を経過し、全体的に老朽化している。 令和元年7月に北部土木事務所協力の下定期点検マニュアル[簡易版]に基づく現地調査を実施した結果、外部基礎(複数のクラック)の補修や屋根及びシャッターボックス(発錆)の塗装替えを検討するよう判定を受けことから、令和3年度に修繕を行った。また、シャッターがスプリングの劣化により開閉困難となったことから、同年度に併せて修繕を行った。 今後は計画的な保全点検に努めながら適正な維持管理をしていく。





(参考様式：調査結果票)

## 県有建築物保全点検調査結果票（準用版）

施設名称：若柳水防倉庫

延べ面積：69.56 m<sup>2</sup> 1 階建て

棟名称：水防倉庫

竣工年月：1983/10/18 W 造

点検日：2019/07/02 35 年経過

番号	調査項目	調査結果	写真番号
<b>2 建築物の外壁</b>			
(2)	基礎	基礎の劣化及び損傷の状況	■ 支障なし □ 要注意 □ 要是正
(6)~(10)	躯体	外壁躯体の劣化及び損傷の状況	■ 支障なし □ 要注意 □ 要是正
(11)~(14)	外壁 外装仕上げ材等	タイル、モルタル等の劣化及び損傷の状況並びに雨漏れの状況	■ 支障なし □ 要注意 □ 要是正
(15)	窓サッシ等	サッシ等の劣化及び損傷の状況並びに雨漏れの状況	■ 支障なし □ 要注意 □ 要是正
<b>3 屋上及び屋根</b>			
(1)	屋上面	<del>屋上面の劣化及び損傷の状況並びに雨漏れの状況</del>	□ 支障なし □ 要注意 □ 要是正
(2)~(4)	屋上周り (屋上面を除く)	<del>パラペット、笠木の劣化及び損傷の状況</del>	□ 支障なし □ 要注意 □ 要是正
(5)		<del>排水溝の劣化及び損傷の状況</del>	□ 支障なし □ 要注意 □ 要是正
(7)	屋根 (屋上面を除く)	屋根の劣化及び損傷の状況並びに雨漏れの状況	■ 支障なし □ 要注意 □ 要是正
<b>5 避難施設等</b>			
(8)	避難上有効なバルコニー	<del>手すり等の劣化及び損傷の状況</del>	□ 支障なし □ 要注意 □ 要是正
(25)	排煙設備等 防煙壁	<del>防煙垂れ壁の劣化及び損傷の状況</del>	□ 支障なし □ 要注意 □ 要是正
(28)	排煙設備	<del>排煙設備の作動の状況</del>	□ 支障なし □ 要注意 □ 要是正
(39)	その他の 非常用の照明装置	<del>非常用の照明装置の作動の状況</del>	□ 支障なし □ 要注意 □ 要是正
(特記事項)			
・外部基礎 クラック複数有り → クラックから水が入り込むと構造物劣化の原因となりますので、補修が望まれます。 ・屋根(主に雪止め廻り)、シャッターボックス 発錆 → 塗装替えを検討してください。			